2026年（令和8年）7月15日　水曜日
日刊建設新聞

宇管工が「宮の泉」寄贈

アークタウンに給水スポット

宇都宮市管工事業協同組合（中村勝理事長）は、宇都宮市東部総合公園「アークタウン宇都宮」に、マイボトル対応型の無料給水スポット「宮の泉」1基を寄贈した。同公園には市上下水道局が設置した1基と合わせて2基が整備され、公園利用者の熱中症対策やペットボトル使用量の削減などに役立てられる。

「宮の泉」は、安全でおいしい宇都宮市の水道水を市民や県内外からの来訪者にPRするとともに、こまめな水分補給による熱中症予防や、マイボトル利用の促進による環境負荷の低減を目的に設置している。SDGsの推進にもつながる取り組みとして期待されている。

宇管工が寄贈した「宮の泉」

市内ではこれまでにライトキューブ宇都宮、オリオンスクエア、うつのみや表参道スクエア、大谷コネクトに設置されており、アークタウン宇都宮への設置で5カ所目となる。このうち、オリオンスクエアの設備も同組合が創立70周年記念事業として寄贈した。アークタウン宇都宮では、管理棟付近に市上下水道局、多目的広場付近に同組合がそれぞれ1基を設置している。

アークタウン宇都宮は今年3月に開園した都市公園で、LRT平石停留場に直結。国際大会にも対応可能なスケートパークやBMX、3人制バスケットボール（3×3）の競技施設、屋根付き多目的広場、芝生広場などを備え、幅広い世代が利用できる施設となっている。

今後、本格的な暑さが見込まれる中、公園内でスポーツやレクリエーションを楽しむ利用者の熱中症対策としても活用が期待される。